

会議の名称	令和7年度合志市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議	
開催日時	令和7年7月28日(月) 午前10時～	
開催場所	合志市役所 2階庁議室	
議 題	まち・ひと・しごと創生推進事業について	
会議の公開・非公開の別	公開 一部非公開 〔傍聴者なし〕	(一部) 非公開の場合、その理由
出席者	委員	坂梨徳昭、上田耕太郎、田中尚人、永野典詞、松原寿幸、高橋遼太、田中敦、池永けい子、毛利一生、西本直美
	行政	栗木清智、山口直美、渡邊光、高木宏亮、水野隆文、田邊泰良
欠席委員	なし	
議事内容	①「健幸都市こうし」デジタルキッチンプロジェクト	
	《委員の意見等(要旨)》	
	委員	デジタル技術を活用した情報発信事業でデジタルプラットフォームを構築するとありますがどういった媒体で発信していますか。
	商工振興課	フードラボ合志公式のウェブサイトにて発信しています。
	委員	移動販売を実施する中での課題はありますか。
	商工振興課	基本的に困っている市民がいれば行きたいですが、地域によって収益性に差があることが課題です。収益性を確保するために公民館等で実施しているイベントや行事に合わせて移動販売を実施するよう変更したり廃棄をなくすため在庫管理の方法を改善したりしています。
	委員	地域における公民館の存在は大きい。公民館の新たな使い方を周知するいい機会になると思います。
	委員	フードラボ合志は市の運営でしょうか。
	商工振興課	市の運営ではなく、連携している事業者という形になります。
	委員	各地域での祭りで若い人の関心の高さを感じる。
	商工振興課	今後は地域の祭りなどを通して、すそ野を広げていき地域のプレーヤーを増やしていくことが大切だと思います。
	委員	弁天でマルシェを開催してきているが、1～2店舗が単発で出店することが多い印象です。それでは2回目来た時に買おうと思っても買えない。できれば出店日を決めるなどし、お客さんが目的の物を買えるような工夫は必要だと思います。また祭りの雰囲気だと若い子育て世代の家族等の来場が多い印象があります。各出店者がそれぞれのSNSで出店情報を出すだけでも新たなお客さんを獲得するチャンスにつながると思います。
	委員	来場者の意見はとても大切。先ほどのようなご意見のように事業者毎にある程度固定した方がいいのか、変わった方がいいのかといったところから考えてみてほしいと思います。他にも近隣市町と交流を図るために菊池や菊陽の事業者さんに合志のマルシェイベントに出店してもらい、合志の事業者が菊池や菊陽のイベントに出店するような取り組みも検討してみてもいいかもしれません。
	委員	人を集めるという点であったり、当初に書いてあるこの数値目標というのは達成できていると思う。逆にそこからより深まるって言うところでは食のところで健康都市こうしっていう名前に注目しました。どうしてもイベント時のご飯は、ジャンクフードが多いため、健康なメニューの開発・販売を検討したり、健康こうし事業で、地域の過疎地の高齢者の方に持ってくるご飯を提供したりする際に、健康的で美味しいものが食べれるっていうのが一つのその日集まるきっかけになったりするかもしれません。そのため、プラスアルファで健康的なご飯っていうところに着眼してもらって進めてもらおうと、より深みが出るかなというふうに思ったところでした。

②新たな視点での取組みによる持続可能な地域の実現プロジェクト ③市民と地域産業の共創が生み出すウェルビーイングなまちづくり事業	
《委員の意見等(要旨)》	
委員	「健康」や「農政」といった分野も関わってくる事業かと思いますが、その担当部署との連携はどういう形になっていますか。
秘書政策課	どういった人たちに実証実験をすればいいか話を聞く程度です。実証の結果を共有はしていますが、実装のところまでは調整ができていません。
委員	農政部局と健康部局間での直接横連携はできていますか。それとも秘書政策課が間に入って繋いでいるのでしょうか。
秘書政策課	現時点では秘書政策課で一旦受けて各課と連携しております。
委員	多分今後そういう農福連携とかが出てくると、もっと事業がやりやすくなると思います。農政部局と健康部局の方が直接やり取りしてもらっているものなんかありませんかと思いました。それは今後皆さんの働き方、働きやすい方でやってもらったらいいと思いますが、庁内連携の仕組みも検討いただけたらと思います。
委員	「うえるこ」の企業向けの新機能については導入する企業がなかったということでしたが、例えば導入したところにジムの補助を出す等インセンティブを付与することによって会員を増やすというのでも検討できるのではないのでしょうか。
委員	自社でも様々な商材があつてセールスしています。年齢層に応じてターゲティングをしてどうセールスした方がいいか個人でも組織単位でも考えます。しかしアプリを入れてくださいというだけでも一苦勞です。インセンティブは一つのきっかけにはなってくれるんじゃないかなとは思っています。
委員	民間も行政も人手が足りないのが現実だと思います。そういった場合にインセンティブだけではインセンティブの出し合いになってしまうため、今後はそこに何か工夫があるといいなと思います。
委員	3つの実証実験を終わられたと思いますけど、今後は普及させていくための経費が必要だと思います。具体的に普及するというのはどこを目指すのか、目安や目標があれば教えてください。
秘書政策課	実証実験を行ったことで有益であるということが分かっています。今後は庁内で関係部署を含めて検討をしていく必要があると思います。例えば農業の自動運転については、集落営農組織集落で、農家の方が集まって作業支度をしているような作業については需要があるものと思っておりますので、先ほどご提案がありました担当課と情報共有をしていきます。今後は普及させる段階になりますので開発事業者を含めてさらに踏み込んでいこうかと思っています。
委員	単にアプリ入れてください、農業でこういうものを導入してくださいとただ訴えてもなかなか動いてもらえない。しかし、その先にウェルビーイングの実現を目指してこういうことをやっているということを併せて説明すると、では協力しようかという話にもなると思います。ウェルビーイングとの関係性を理解してもらうのが難しい部分もあるかと思いますが、行政にしかやれないことでもあるので頑張ってもらいたい。
委員	児童の見守りに使えるというのは非常にいいなと思います。最近不審者等も多いので本格的に導入する見込みはあるのでしょうか。
秘書政策課	実証した見守りシステムは民間でも開発されていたりします。しかし、合志市で開発したもの、農業から派生したものといった特徴がありますので、学校などと連携しながら、今後進めていきたいと思っています。
委員	個人情報の話等どこまでデータを出していいのかといったことも考えないといけないと思いますので、行政でこういう仕組みを開発したけど導入できないかといった話を内部で進めてもらえたらと思います。
委員	健康増進の意識づけが進んでいるかと思いますが、事業を進めるにあたっての課題や展望を教えてください。
秘書政策課	市民の健康意識を高め、行動変容をさせるによって、ヘルスケア産業分野の企業が合志市集まってくる、そして新たな産業が生まれていくことを期待しております。合志市をフィールドとして健康に意識が高い自治体であるということをしっかりPR出来ればなと思っています。
委員	KPI達成のために具体的に何をするのかというところが見えにくい部分があると思うので、先ほど話が合ったように庁内での横の連携の中で、秘書政策課さんの固めたアイデアをどう横連携するかで広がりが変わってくるかと私も思っておりますので、ぜひ横連携を進めて、具体化していくという流れができると、この事業がより見える感じになってくるのかなというふうに認識を持っていますので、今年の活動に期待しております。
委員	新しい産業は今までの枠では括れないため、新しい産業と言っているだけで、似たような産業、関連している産業はあると思うので、そういった分野と連携をしていくこと、関係性を構築していくことで事業をよりいいものにすることができると思うので、是非様々な部署、関係機関と連携を進めてもらいたいと思います。